

(2) 道徳教育の充実

一人一人の子どもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもつことができるよう、教育活動全体を通じて道徳性の育成に努める。

実践事項

★は、特に力点を置いて取り組んでいただきたい実践事項

1 道徳教育を推進する指導体制と全体計画の整備・充実

- ・校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心に、全教職員が協力し合って道徳教育を展開する指導体制を整備・充実させる。
- ・学習指導要領及び解説の趣旨や内容の理解をより一層深化させる。
- ・自校の道徳教育の目標を達成するために、全体計画及び全体計画別葉を作成し、それを各教科の具体的な指導に結び付ける。
- ・全教職員の共通理解による組織的・計画的な評価の推進に努める。

2 「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導の工夫

- ・全体計画に基づき、重点内容項目を複数回位置付けるなど、児童生徒や学校の実態に応じた年間指導計画を作成する。
- ・「内容項目の理解」、「児童生徒の実態把握」、「教材の活用」を基に、育てたい諸様相とねらいを明確にした授業づくりをする。
- ★教師の指導の意図に基づいたねらいに迫る中心発問と、中心発問を深めていくための問い返しや揺さぶりの発問を工夫する。
- ・児童生徒が問題意識をもち、主体的に考え、話し合うことができるようにするための指導の工夫をする。
例：教材の提示、発問、話し合い、書く活動、動作化や役割演技などの表現活動、板書、説話、ICTの活用
- ・授業における「学習状況（学びの姿）を見取る視点」を明確にし、指導と評価の一体化を図る。
- ・児童生徒の学習状況（学びの姿）を蓄積し、大きくくりなまとまりを踏まえた評価や、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価を行う。

3 郷土を愛する心を育む指導の充実

- ・家庭や地域社会と連携・協力しながら取り組めるよう、道徳教育に関する情報を積極的に発信する。
例：自校の道徳教育の方針や計画の公表・説明、道徳科の授業公開、道徳教育に関する意見交換の場の設定
- ・郷土の先人、地域に根付く伝統と文化、行事、歴史などを題材にした地域教材等を効果的に活用する。